

## paint 大矢谷白山神社巨大岩塊



20mをこえる圧倒されるような巨大な岩塊です。 火山に由来する大小の角礫と火山灰が固まった火山角 礫岩で、経ヶ岳および保月山山頂付近の山体が崩壊し て岩なだれとなって流れくだったものです。 泰澄大師が宿泊した岩窟という伝承があります。

解説 吉澤 康暢 氏 (福井市立自然史博物館 館長)

## Point 2 池ヶ原湿原



この湿原は、牧草地造成のための工事で、一時はかなり破壊されましたが、昭和 59 年にふるさと公園として、県によって木道や休憩施設が整備され、湿原の様相を取り戻しています。地元の人は、昔からこの湿原を「葦田」と呼んで、かやぶき屋根や雪囲いの材料とするために、毎年ヨシ刈りを行っていたそうです。

解説 多田 雅充 氏 (福井県自然保護センター 所長)

## Point® 白山平泉寺



平泉寺は、霊峰白山 (標高 2702m)の越前側登拝口に開かれた白山信仰の拠点寺院で、今から 1300 年近く前、泰澄によって開かれたと伝えられます。

中世には北陸でも有数の勢力を有するようになり、現在の白山神社よりもはるかに広大な境内に、数十の堂や社、数千におよぶ坊院が建ち並んでいたといわれます。

解説 勝山市観光ガイドボランティアクラブ

